

平成19年度 一般会計補正予算 補正額 1億3,599万8,000円 可決

■歳出の主な事業

(仮称) 鶴ヶ岡コミュニティセンター新築工事費 (増額)	1,740万円 (工事費合計 1億8,240万円)
プール利用補助券交付事業	1,031万円
緑ヶ丘・亀居地区まちづくり事業推進業務委託料	577万円
一般国道254号交通安全施設整備 (大井東台(坂上) 道路拡幅) 事業	9,000万円
帰国・外国人児童生徒受入促進事業	233万円
問題を抱える子ども等の自立支援事業	255万円



第2回定例会
6/1
6/18

議会人事



大築 守 (議長) 高橋 順子 (副議長)

◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会

- ◎五十嵐正明 松尾 勝一
- 高畑 博 大石 正英
- 大築 守 飯沼 潤子
- 伊藤美枝子 鈴木 実
- 新井 光男

市民・都市常任委員会

- ◎堀口 修一 小高 時男
- 有山 茂 福村 光泰
- 山口 公悦 小川 愛子
- 岸川 彌生 塚越 洋一

福祉・教育常任委員会

- ◎神木 洋寿 高橋 順子
- 田村 法子 野沢 裕司
- 足立志津子 前原かづえ
- 小峰 敏彦 岩崎 公夫
- 加藤 未勝

議会運営委員会

- ◎福村 光泰 小峰 敏彦
- 伊藤美枝子 神木 洋寿
- 有山 茂 新井 光男
- 堀口 修一 大石 正英
- 山口 公悦

※議会広報常任委員会は12ページに掲載

5月23日付で3人の議員が辞職し、3人(松尾・飯沼・小川議員)が繰り上げ当選となりました。

議案に対する総括質疑

本定例会では、平成19年度補正予算一般会計ほか特別会計1件、条例5件など議案17件、委員会から議案1件、議員から意見書5件が提出されました。

鶴ヶ岡コミュニティセンターの入札について

自民クラブ

問 鶴ヶ岡コミュニティセンターの建設工事の業者決定に、何回の入札が行なわれたか。

答 建築工事については七回の入札を行ないました。契約までは至っていません。この間、設計等の変更、外壁等も変更を行ないながら、予算内での契約を図るべく努力はしてきました。

問 過去の入札と対応については。

答 指名入札から一般競争入札への変更など、多くの業者の可能性の枠を広げ工夫をしました。

問 予算増額となる主な経緯は。

答 原油価格の高騰による建築資材の値上がり等により、市場価格との隔たりが解消されるまでには至りませんでした。

問 今後の見通しについて。

答 補正予算の議決後すぐに、入札執行事務に入り、七月中に契約、そして工事の着工、二月末に完成し、各種の検査等を経て三月完了し、平成二十年度の早期開館をした。

問 市内の「地下電線」の敷設、設置状況は。

答 「地下電線類」は、現在約

一九三・五キロメートルです。

問 地下電線の施工は、コストは高いが地震等の災害に強い、景観もよく支障がないなどのメリットはあるが、事業の推進は。

答 区画整理や再開発事業等で行なう場合は、地下電線化は検討されるものの、経費面での問題もあり、推進が進まない状況にあります。

既存エレベーターの改修だけでは防犯上問題

日本共産党

問 ふじみ野駅西口エレベーターの設置位置が商業施設の既存エレベーターを改修することに變更されたが、改札から距離が遠くなるだけではなく、駅員から届かず、防犯上も問題であり当初の計画に戻すべきだ。

答 東武鉄道からは、「駅ビルと駅舎の担当部署との話し合いで、コストが削減できると判断した」と説明されました。

現場を確認したところ、六〇メートルの距離となることから、強く元の位置を主張しましたが、実現できまませんでした。

問 プールの利用補助券交付事業が行なわれるが、県営プールは遠い。近隣や学校プールは検討できなかったのか。また、プール再開の方針を決めるのはいつか。

答 補助券は暫定的措置として実施するものです。近隣の施設にも当たりましたが、協議は整いませんでした。学校プールは水質管理などあらゆる面から検討し、断念しました。方針は来年度予算の検討時に決定していきます。

問 国道二五四号の改修工事は、地元住民の長年の念願であり一歩前進した。その前後

の整備事業も、引き続き進めるべき。今後の考え方は。

答 今回の工事期間は、交差点改良を目的として歩道整備を一緒にするというもので、一九〇メートルということですので、市としてもこの改良工事が終わりましたら、引き続き関係機関に拡幅工事をお願いしたいと考えています。

問 給水条例の一部を改正することに於いて、他地域との比較・適正な料金への調整は。

答 県内において五番目に低廉な価格です。水道料金体系を統合することにより、市内の料金格差を是正するものです。経済性と公共の福祉という基本原則に基づき、将来にわたって安全で安定した供給を目指し、本年度に事業基本計画を策定していきます。

駅西口エレベーター事業変更の経緯は

公明党

問 ふじみ野駅西口のエレベーター設置事業が駅ビル内エレベーター改修による対応となったことは、バリアフリーのまちづくりを指す上で残念なことだ。変更に至った経緯と改修の内容は。

答 今年度に入り、鉄道会社の事業見直しにより計画変更となりました。駅ビルエレベーター

の改修とともに、誘導表示、スロープの緩和、防犯対策、段差の解消などに努めます。

問 緑ヶ丘・亀居地区のまちづくり事業について、あくまで地権者の意見が尊重されるべき。住民のメリット、市全域における位置づけは。

答 旧大井町当時から、市街化区域に戻すという位置づけで検討を図ってきました。区

画整理事業により市街化区域に編入されると、良好で効率的な土地利用が可能となります。

問 市民プールについて、広域化あるいはPFIによる建設も一つの選択肢ではないか。

答 市民感情を考慮しなければならぬが、一つの手法としては、広域化やPFIも今後の課題になると思われます。